山弓連 だより

べに花国体にむけて好発進

べにばな国体（山形）への出場権を賭けた三国体（関東予選）が8月23日石和町清流館弓道場で開催された。8年ぶりに地元開催ということで「地の利を生かした戦を」と合言葉に、本会場を使っての練習会を続けてきた結果、その努力の成果があって、みごとに二種別が関東代表の栄冠を射とめた。

少男1位、成女二2位で通過

三国体で大健闘

まず先陣を切ったのが少年男子戦。近的は稍、固くなったが3位と出遅れたが、遠的1位となり総合競射では、関東大会王者の貫禄をみせつけて神奈川を振りきり代表権初名のり。

つづいて少年女子、成年二部は日頃の調子が出ないまま惜敗したが、最後に登場した成年二部チームが、がんばった。近的は少男同様3位にとどまったが、遠的1位となり、総合点は13点差で2位となり、総合点は13点差で2位となり、総合点は13点差で2